

夢に向かって歩み続ける

「佐藤（六ヶ所出身）夢のプロへ」（7月14日：木）東奥日報のスポーツ欄に大きく、元一中生の記事が載っていました。

記事によれば『佐藤豪皇（こお）さんはUAE（アラブ首長国連邦）2部の「フルサンヒスパニアFC」のユース（高校年代）チームで活躍し、今季はトップチームで飛躍を目指す』『15歳で単身ドバイに渡ると、プロサッカー選手養成機関のスパニッシュ・サッカー・スクール（SSS）からフルサンヒスパニアのユースに選抜され、各国から集まった同年代の選手らとサッカーに打ち込んだ。168センチ、64キロと小柄ながら、国内大会でMVPや得点王に輝くなどの活躍が認められ今年5月、トップ昇格が決まった』とのこと。

記事を読んだその日の午前中にご自宅に伺ったところ、突然の訪問にもかかわらず、壕皇さんとお父さんが応対してくれました。世界の荒波で鍛えている引き締まった身体と表情に今後の活躍が楽しみになりました。

本校では今年度、様々な方々をゲストティーチャーにお迎えし、夢を語ってもらう予定です。既に6月21日（火）には青森南高校の3名の生徒さんに「平和とSDGs」の題名でお話をして頂きました。8月25日（木）にはクラウドファンディングで資金を調達し、東通村に英語塾を開塾した田名部高校の生徒さんとそれをサポートした方。また、8月30日（火）にはタヒチアダンス全国2位で、中学校教員を辞して、ダンスを極めようとしている方をお招きする予定です。全ての方に共通しているのは、「自分の夢を持って、それに向かい困難にも負けず歩み続けている」ということです。

明日（7月22日：金）から33日間の夏休みに入ります。本日（7月21日：木）1学期終業式で私から「**いきる**」と頭文字3文字でお話をしました（学校だより11号参照）が、それにしても、つまらない話だったなあと反省しきり。「自分の夢に向かって楽しむ夏休みに！」とか話せばよかったなあと家に帰り一人で反省会。タイムリーで分かりやすく、子ども達がワクワクしながら聞いてくれるようなお話しができる人に・・・私も夢に向かって歩み続けます。



東奥日報R4年7月14日掲載：東奥日報社提供。この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです

藤川俊彦（7月21日更新）